

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ひかり		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2024年 12月 10日		2025年 1月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者・保護者との、送迎時等の時間を有効に密な引き継ぎ。	送迎前には担当スタッフに対象児童の様子について伝達、業務終了後には全体で保護者の様子や要望などについて話し合う。	保護者が利用や情報共有を安心して継続できるよう、新任のスタッフにも、保護者とのコミュニケーションやスタッフ間での情報共有が丁寧に行えるよう指導していく。
2	利用者本人の様子のイメージしやすさ	SNSでの情報発信、毎月利用者個人の写真を印刷して配布することで、どんな様子で本人が過ごしているか、イメージしやすいようにしている。	保護者も参加できる企画などを実施し、実際に利用者本人が過ごしている様子を見れる機会を増やしていく。
3	利用者本人のペースや希望に合わせた企画設定	視覚支援を交えながらできる限り、企画に参加するかどうか、どの企画に参加するか、選択できるように配慮している。	当日に利用者とも相談して企画を決めることも多い。大きな企画はスムーズに決定し、あらかじめ周知をすることで、見通しのつきやすい支援に繋げていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	避難訓練等の実施はしているが、利用者家庭に対する十分な周知がされていない。	避難訓練等は参加した利用者の保護者には報告を行うが、全体への共有などはしていないため、実施の有無や詳細が分からない保護者もいると思われる。	SNSなども用いて、実施の報告や利用者の様子の共有などを進めていく。
2	利用者の家庭間でのつながりや、情報を共有し合う場などのサポートがない。	父母の会等の設置がなく、保護者同士でのふれあいの場がない。	保護者を招いての相談会や、交流会を実施し、保護者同士の交流の機会を増やしていく。
3	外部機関や地域との関わり、障がいの無い子どもとの関わる機会が少ない。	利用者の特性を考えた際に、外部と接触する機会の提供が難しい場合も多い。	地域の情報を集め、障がいの程度に関わらず参加できるイベントや楽しめる企画を模索していく。